



独立行政法人

国立病院機構盛岡医療センター

地域医療連携室だより



No. 44

(令和7年10月発行)

院長就任の挨拶

院長 篠崎 毅



先生方におかれましてはますますご清栄のこととお喜び申し上げます。10月は暦の上では晩秋ですが、やっと秋の空気を感じはじめた今日この頃です。私は10月1日をもって国立病院機構盛岡医療センター院長を木村啓二名誉院長から引き継いだ篠崎毅です。会津若松に生まれ、前任地の国立病院機構仙台医療センターで19年間、循環器内科を標榜してきました。加えて、救急医療とその若手スタッフの育成にも大きなエネルギーを注いで参りました。

呼吸器疾患の治療に実績のある盛岡医療センターにおいて、さらに治療のウイングを広げたいと考えております。今後は先生方のお力をお借りして、この盛岡の地域医療をさらに盛り上げていきたいと考えております。ご指導ご鞭撻のほどよろしくお願い申し上げます。

当院の病院機能は時代と共に変わってきました。明治の陸軍病院時代、戦後の結核療養所時代、高度経済成長期のリハビリテーション病棟開設、令和に入り、小児重症心身障害者病棟開設と小児救急医療を開始し、COVID-19の時代には感染患者さんをどこよりも率先して受け入れて参りました。そして今、医療需要の減少時代に突入しました。しかし、いつの時代でも共通することは、病に苦しむ患者さんを助けることが医療であるという原則です。私たちは地域に根差し、地域の患者さんのために地域の先生方と共に歩んでいきたいと考えております。

現在の当院の具体的な機能をご案内いたします。木村名誉院長時代には岩手県アレルギー疾患医療拠点病院として小児アレルギー・免疫疾患分野において全県から患者を受け入るようになりました。整形外科は脊椎疾患をはじめ、全ての整形外科疾患を治療対象とし、毎年全身麻酔300件～400件の手術を実施しています。リウマチ内科は膠原病疾患に対して最新の分子標的薬治療を行っております。(次ページへ続く)

- 病院理念● 生命を尊重し、地域の人々に安心・信頼される医療を提供する
- 基本方針●
 - ①安心・安全な医療を提供します。
 - ②病病連携・病診連携を通して地域医療に貢献します。
 - ③専門的な知識と技術、倫理観を備えた職員を育成します。
 - ④職員は互いに尊重・補完しあい、協働し良質な医療を提供します。
 - ⑤信頼される医療を提供するための経営の健全化を図ります。

脳神経外科ではパーキンソン病等の不随運動を示す患者さんへの脳深部刺激療法を岩手医大と共同で行っております。また、難治性疼痛に対する脊髄刺激療法、重い痙縮に対するバクロフェン髄腔内投与療法も併せて実施できる県内唯一の病院です。呼吸器・アレルギー科は気管支喘息・睡眠時無呼吸症候群の患者さんが全県から来院します。また、当院は岩手県結核医療ネットワークの中心です。循環器内科では冠動脈CTは勿論のこと、心筋の性状も評価できる心臓MRIを実施しており、その実施件数は県内最大を誇っております。放射線科では地域の先生方にMRI、CT、骨密度装置をご利用いただけるようにいつでもお待ちしております。今年の4月からはMRIを用いた認知症検査（VSRAD）、話題の全身DWIBS（ドゥイブス）検査（全身がんスクリーニング検査）、スマート脳ドックも開始しました。MRI、CT、骨密度装置の共同利用をご希望される先生は地域医療連携室にお電話ください。当院は地域の先生方と共に歩むために様々な試みを繰り返してきました。当院がさらに進化するために、先生方からの率直なご助言を常にお待ち申し上げます。

第9回地域医療懇談会を開催

管理課長 三河 栄次郎

去る令和7年8月28日（木）、メトロポリタン盛岡NEW WINGを会場に第9回地域医療懇談会を開催しました。

当懇談会は、地域医療の連携強化を目的に行っており、地域の先生方28名及び当院スタッフ57名の総勢85名に参加いただきました。

木村院長の挨拶から始まり、演題「地域医療連携状況報告」というテーマにて、当院の千葉地域医療連携係長から、当院の現状や共同利用状況の報告、地域包括医療病棟の現状、周辺医療機関とのつながり等について講演を行いました。また、講演直後には、当院地域医療連携室のメンバー紹介をさせていただきました。

引き続き、脳神経外科医長の西川医師から、演題「機能的脳神経外科」と題し診療科紹介を行い、ニューロモデュレーション治療について、動画を交えての症例と治療内容を講演いただきました。

講演後の質疑応答では、会場から活発なご質問・ご意見が飛び交い、当院脳神経外科診療への皆様からの期待が感じられました。

約1時間の上記講演後は、会場を移し意見交換会を行いました。

西松園内科クリニック院長の滝川佐波子先生による挨拶と乾杯のご発声から始まり、ご出席のクリニック・診療所の先生方と当院先生方との間で、日頃の診療御礼や、今後の患者紹介など、さらには久しぶりの再会に会話が弾む姿もお見受けしたところです。

当院は、地域のクリニックの先生方と「顔の見える関係」を大切にしておりますが、歓談している状況を見ておきますと、連携の輪の広がりが感じられ、双方で支え合っていくことの大切さを実感できた懇談会であったと感じました。



開会直前

1時間にわたる意見交換会の最後は、千葉副院長による御礼の挨拶で閉会となりました。
ご参加された皆様ありがとうございました。



木村院長挨拶



篠崎特命副院長挨拶



千葉地域医療連携係長講演



西川脳神経外科医長講演

骨粗鬆症治療継続の病診連携アンケート結果

整形外科 診療部長 大山素彦

今年2月、骨粗鬆症治療継続に係るアンケートを栃内病院様、盛岡市立病院様と3病院合同で実施いたしました。ご回答いただきました先生方には心より感謝申し上げます。

アンケートは107医療機関へ送付し、回答数は98件（回答率91%）と大変多くのご回答があり、高い関心が示されました。回答結果は「内科その他標榜クリニック」からの回答が84件、「整形外科標榜クリニック」からの回答が14件と内科系の先生方からも積極的に治療継続の意思表示をいただき、非常に嬉しく思っております。

「内服・注射など制限無く治療いただける」という回答が一番多い中で、「困った時にはいつでも逆紹介させて欲しい」との条件付きも多く、当院から紹介させていただいた患者さんにつきましてはいつでもお引き受けしますので、連携室経由でお気軽にご相談下さいますようお願いいたします。

今後とも岩手県の骨粗鬆症治療率向上に貢献できるよう、皆様と連携させていただきたいと思っております、どうぞ宜しくお願いいたします。

国立病院機構盛岡医療センター 診療担当医一覧表

令和7年10月1日現在

【外来診療受付時間】 月～金曜日：8:30～11:00（急患については随時対応）

【電話による予約受付時間】 月～金曜日：13:00～17:00 **専用電話：019-645-4564**

診察ご希望の方は、下記の曜日、時間等をご確認の上、ご予約ください。

診療科目	新・再別	月	火	水	木	金	
呼吸器内科／ 一般内科	午前	新患・再来	高原政利 山田博之	木村啓二 只左一也	高原政利 只左一也	山田博之 木村啓二	☆東北大学 呼吸器内科医師
	午後	新患・再来 (急患のみ)	高原政利	山田博之	只左一也	肥田親彦	高橋 信
循環器内科	午前	新患・再来	肥田親彦	篠崎 毅 高橋 信	高橋 信	肥田親彦	篠崎 毅
	午後	新患・再来	—	—	—	—	【ペースメーカー外来】 肥田親彦 (第2・4週、14:00～15:00)
糖尿病内科	午前	新患・再来	—	—	☆岩手医科大学 糖尿病・代謝内科医師	—	—
	午後		—	☆岩手医科大学 糖尿病・代謝内科医師 (第2・4週)	—	—	
消化器内科	午前	新患・再来	☆工藤典重	☆穴倉かおり	—	—	☆仙台医療センター 消化器内科医師 (第2・4週)
脳神経内科	午前	新患	—	—	—	—	【新患のみ】 (第2・4週)
	午後	新患・再来	村田隆彦	小原智子	小原智子	村田隆彦	—
リウマチ科	午前	新患・再来	千葉実行 ☆岩手医科大学 リウマチ・膠原病・ アレルギー内科医師 (第1・3・5週)	千葉実行	☆岩手医科大学 リウマチ・膠原病・ アレルギー内科医師	—	千葉実行 (最終週は休診)

※呼吸器内科・一般内科の午後外来は、新患・再来・予約外の急患について午後1時30分～3時30分の時間で診療を行います。

診療科目	新・再別	月	火	水	木	金	
整形外科	午前	新患・再来	大山素彦	大山素彦 (第2週は予約のみ)	【脊椎外来】 大山素彦 (紹介予約制) 午前9時～11時	本田剛久	本田剛久 (第1・2・3・5週)
			本田剛久	本田剛久 (第1・3・4・5週)			☆大竹高行
脳神経外科	午前	新患・再来	—	西川泰正 (第1・3・5週)	西川泰正	西川泰正	—

※整形外科の第2火曜日、第4金曜日は予約のみの受付になります。

診療科目	新・再別	月	火	水	木	金	
小児科 (消化器・アレルギー) 予約制	午前	新患・再来	佐々木美香	佐々木朋子	佐々木美香	—	—
	午後	新患・再来	佐々木朋子 (第2・3・4・5週)	佐々木美香	佐々木美香 (第2・4週)	—	—
					佐々木朋子 (第1・3週)		
☆高橋明雄 (第2・4週)							

※小児科は消化器・アレルギー等の専門外来になります。

「☆」は、非常勤医師です。

独立行政法人国立病院機構盛岡医療センター

岩手県盛岡市青山一丁目25番1号

病院代表 TEL 019-647-2195

FAX 019-646-1195

<https://morioka.hosp.go.jp/profession/index.html>

